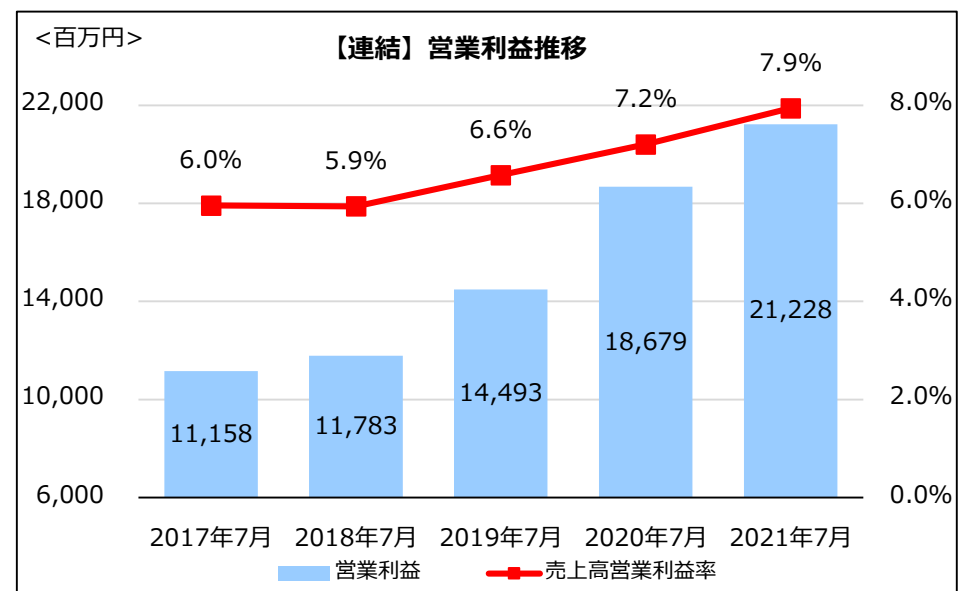
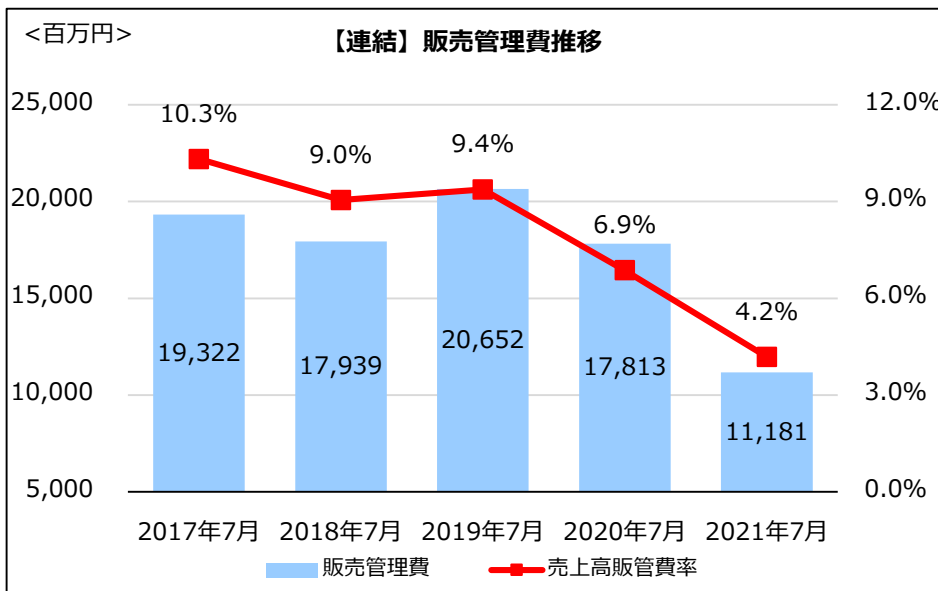
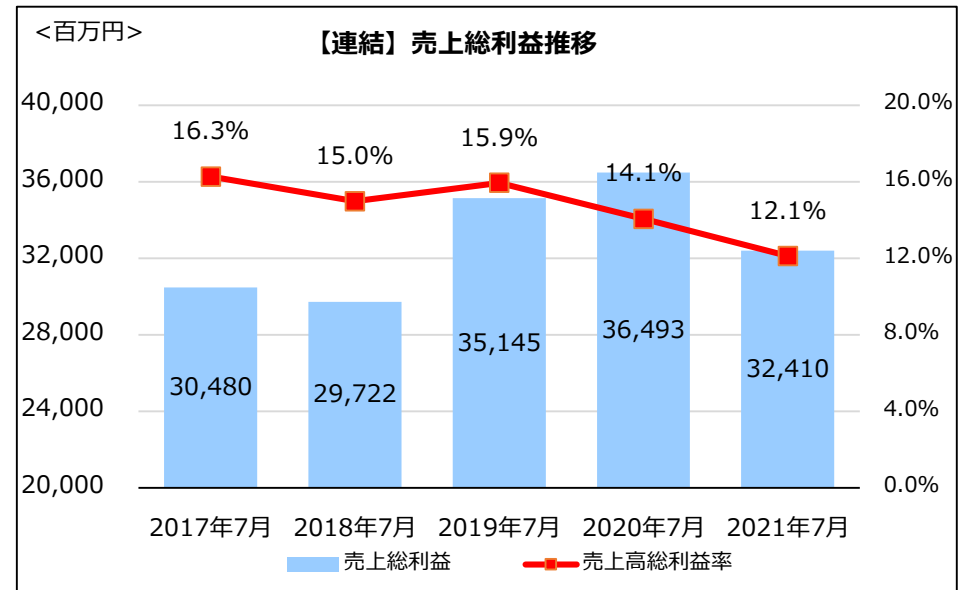
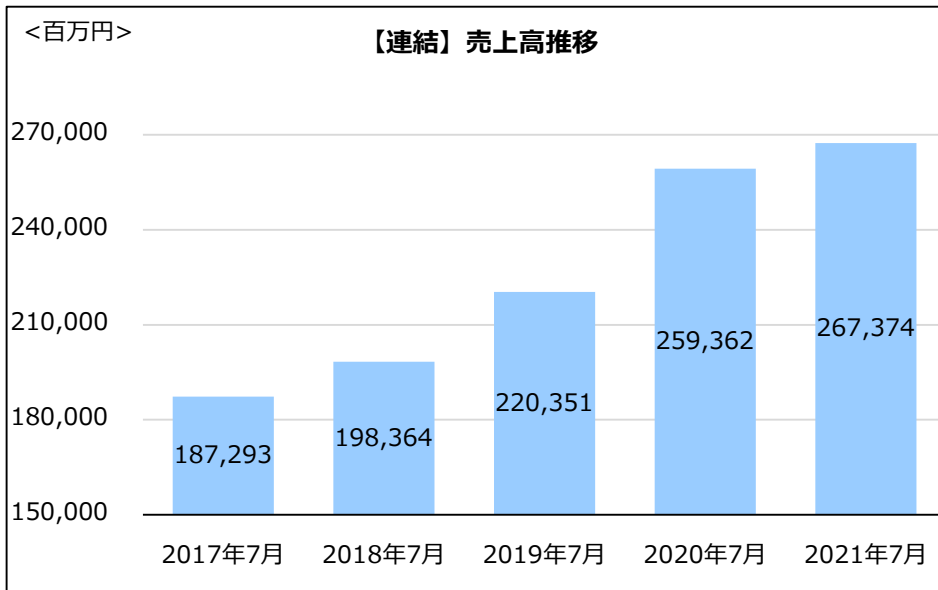


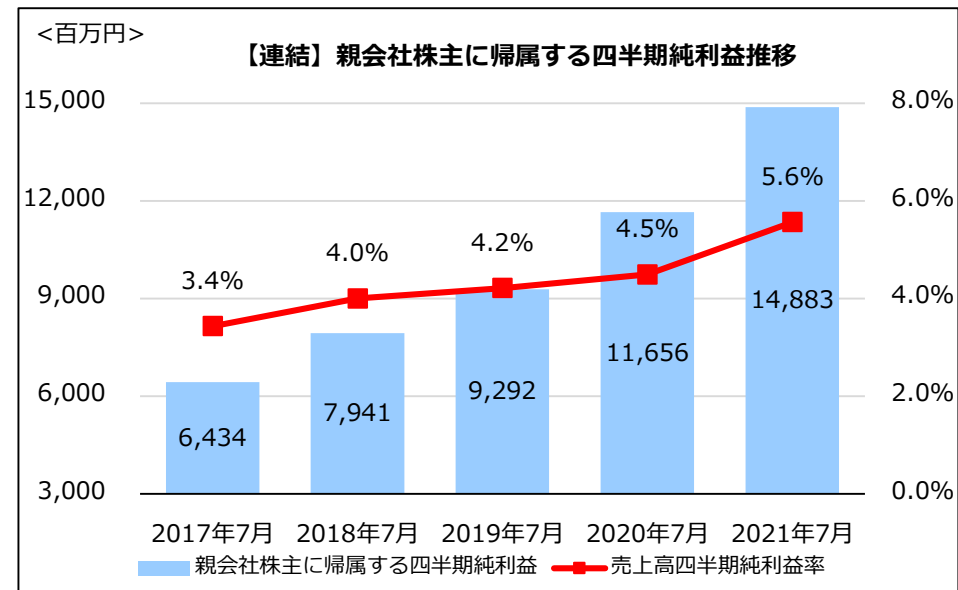
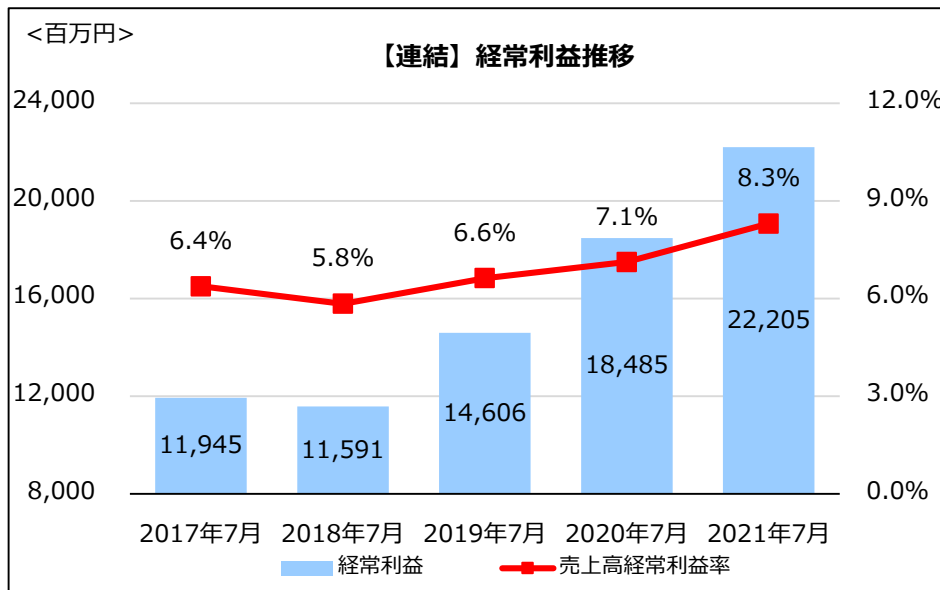
2021年10月期第3四半期 決算説明資料

2021年9月13日



●連結業績及びハイライト(累計)	1
●業務スーパー事業	3
●業務スーパー契約概要	4
●業務スーパー店舗数推移	5
●業務スーパー出荷実績（前年比）推移	6
●当社の強み“商品力”	7
●外食・中食事業	8
●エコ再生エネルギー事業	12
●配当	14
●連結業績予想	15





【業績ハイライト解説】

●売上高

業務スーパーの出店が加速したことやメディア・SNSが影響した結果、業務スーパー事業が牽引し、前年同期より80.11億円、3.1%の増加

●売上総利益

2020年10月期3Qから外食事業を主体としていた(株)クックイノベーションが連結範囲から除外されたことにより、前年同期より40.82億円、11.2%の減少

●販売管理費

売上総利益と同様の理由で人件費や家賃などが減少したことにより、前年同期より66.32億円、37.2%の減少

●営業利益

上記の結果、前年同期より25.49億円、13.7%の増加

●経常利益

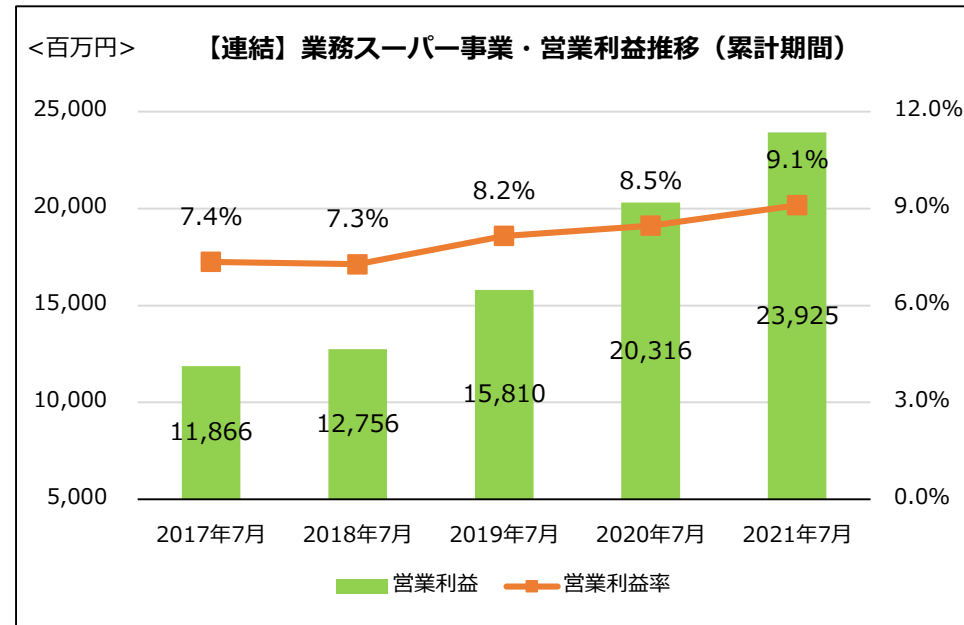
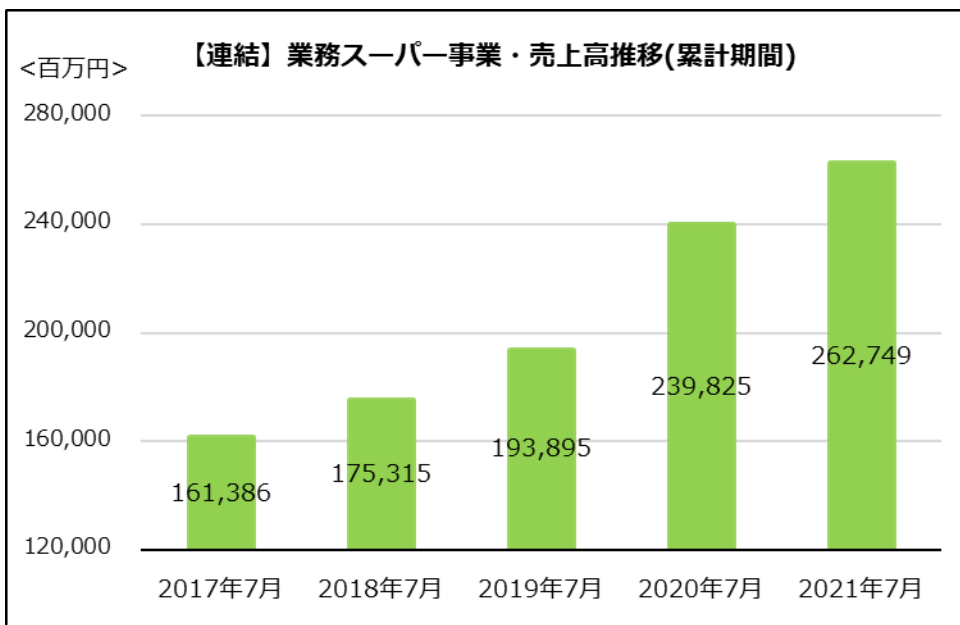
為替差益等の影響もあり、前年同期より37.20億円、20.1%の増加

●親会社株主に帰属する四半期純利益

上記の結果、前年同期より32.27億円、27.7%の増加

当社の主力事業です。業務スーパー F C 本部としての加盟店への卸売やロイヤリティなどの他、自社グループ工場の損益もこのセグメントに分類されます。

- 全国に933店舗展開（2021年7月末現在）
- メディアやSNSの影響もあり、前年よりPB比率が上昇
- 8月26日 大阪市西成区に直営店オープン
AIカメラなどを活用した実験店舗として運営



※2021年10月期より報告セグメントの区分変更を行ったため、2020年10月期より遡って表示しており、過去のデータとの連続性はありません。

業務スーパーは直営2店舗をのぞき、フランチャイズで運営しております。

当社のFC契約形態には、直轄エリア（※1）内に出店いただく際に締結するFC契約と、地方エリア（※2）内において業務スーパーのチェーン化を許諾するエリアライセンス契約があります。また、兵庫県に直営で2店舗運営しております。

※1. 直轄エリア：北海道直轄：北海道

関東直轄：東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県

関西直轄：大阪府、京都府、兵庫県（淡路島を除く）、奈良県、和歌山県、滋賀県

九州直轄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県

※2. 地方エリア：上記直轄エリア以外の地域

契約概要・加盟条件

(2021年7月末現在)

	直轄エリア	地方エリア
契約社数	88社	15社
契約単位	1店舗単位で契約 どのオーナーでも出店可能	県単位で契約 エリアオーナーに独占権あり
加盟金 (消費税等別途)	200万円	当該エリアの人口×2円
保証金	1,000万円	当該エリアの人口×5円
ロイヤリティ	総仕入高の1%	対象商品の仕入高の1%
設備費	常温棚及び冷凍設備工事約2,000~2,900万円 (上記は目安となり、物件により変動します) 別途：設備、建築工事一式、POSレジ、その他準備金等	
配送料	原則本部負担	要相談

損益シミュレーション

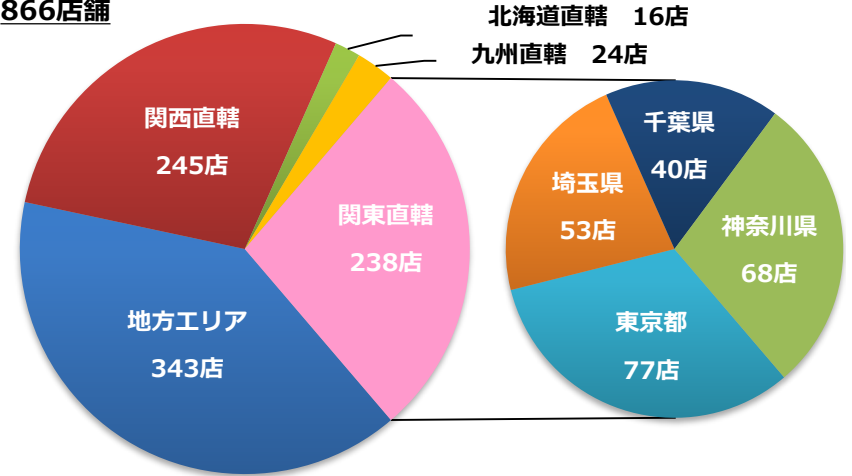
(標準的な業務スーパー)

損益勘定	月額金額	構成比
売上高	32,000千円	100.0%
売上総利益	5,120千円	16.0%
販売管理費	4,480千円	14.0%
内（賃料）	1,300千円	4.1%
内（人件費）	1,440千円	4.5%
営業利益額	640千円	2.0%

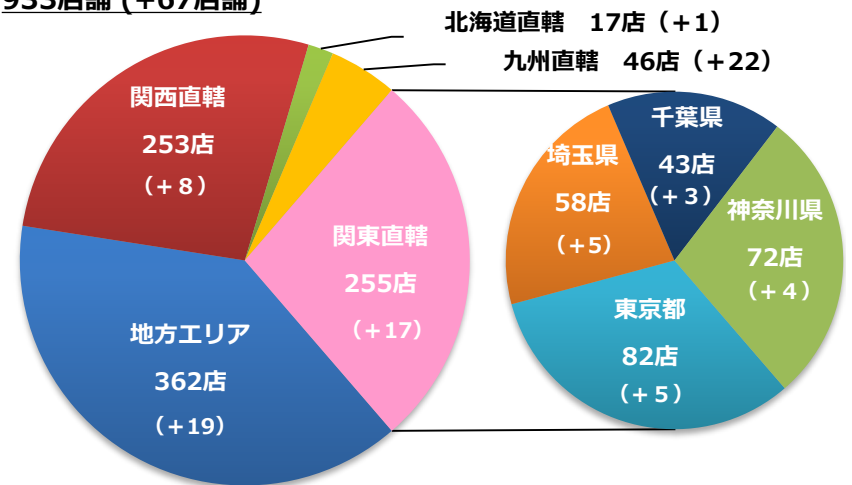
※生鮮など独自商品の取扱いによってシミュレーションより効率的に運営されている加盟店も多くあります。

地域別の店舗数

2020年7月末
866店舗



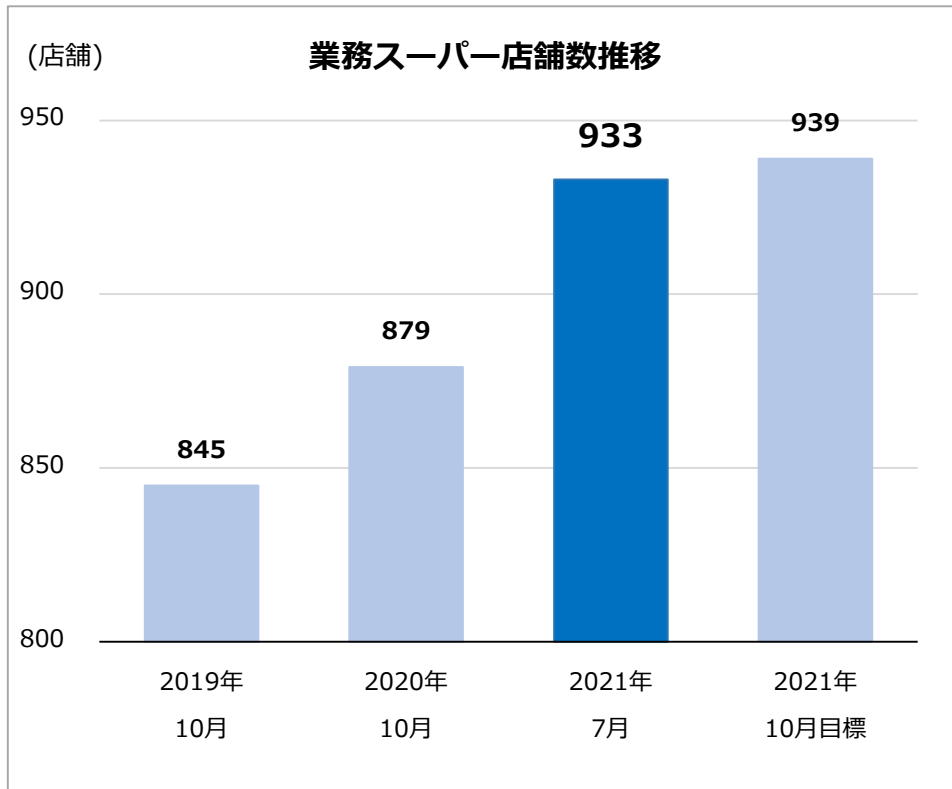
2021年7月末
933店舗 (+67店舗)



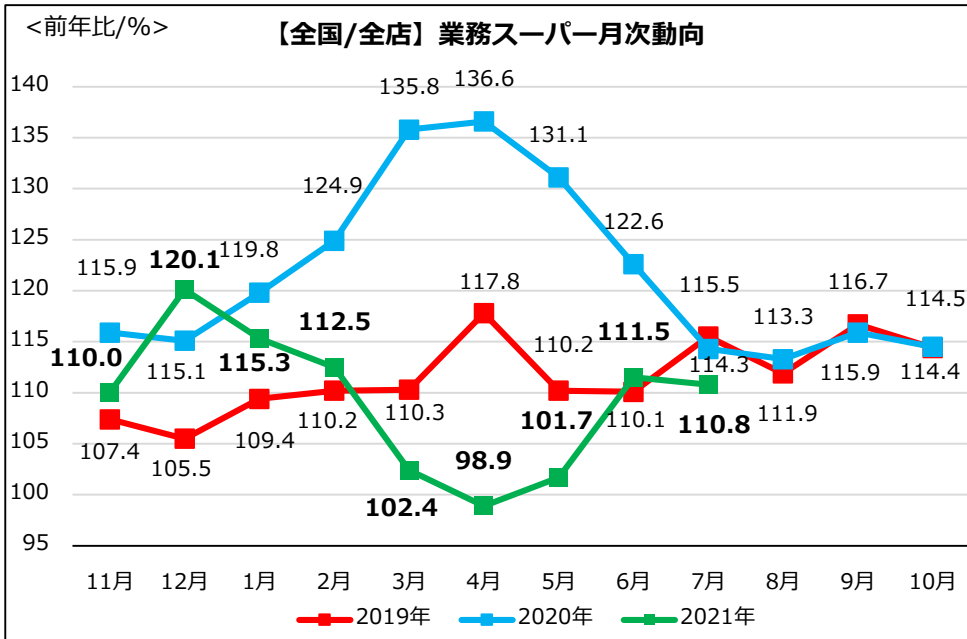
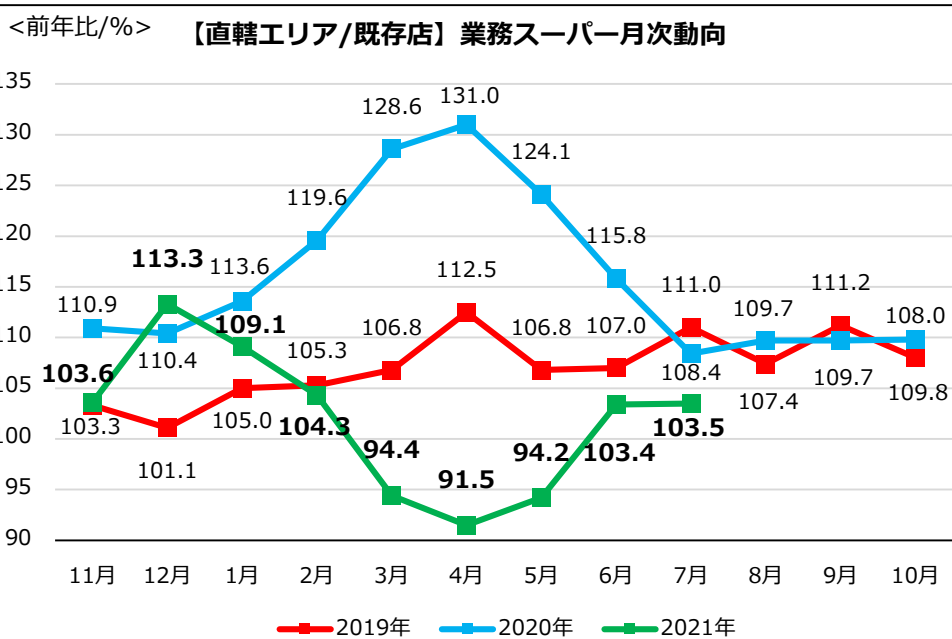
3Q会計期間：13店舗の出店・2店舗の退店で11店舗純増

3Q累計期間：54店舗の純増（年間目標90.0%達成）

九州直轄への出店が好調（3Q累計期間16店舗出店）



■前年は内食需要の高まりで実績が高かったが、3Q累計で100%を超えて推移



【業務スーパーへの出荷実績（前年比）：%】

		2021年10月期									
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	5月	6月	7月
直轄エリア	既存店	103.6	113.3	109.1	104.3	94.4	91.5	101.9	94.2	103.4	103.5
	全店	109.0	119.7	116.1	111.0	100.5	98.0	108.3	100.9	110.5	111.0
全国	全店	110.0	120.1	115.3	112.5	102.4	98.9	109.1	101.7	111.5	110.8

既存店出荷実績

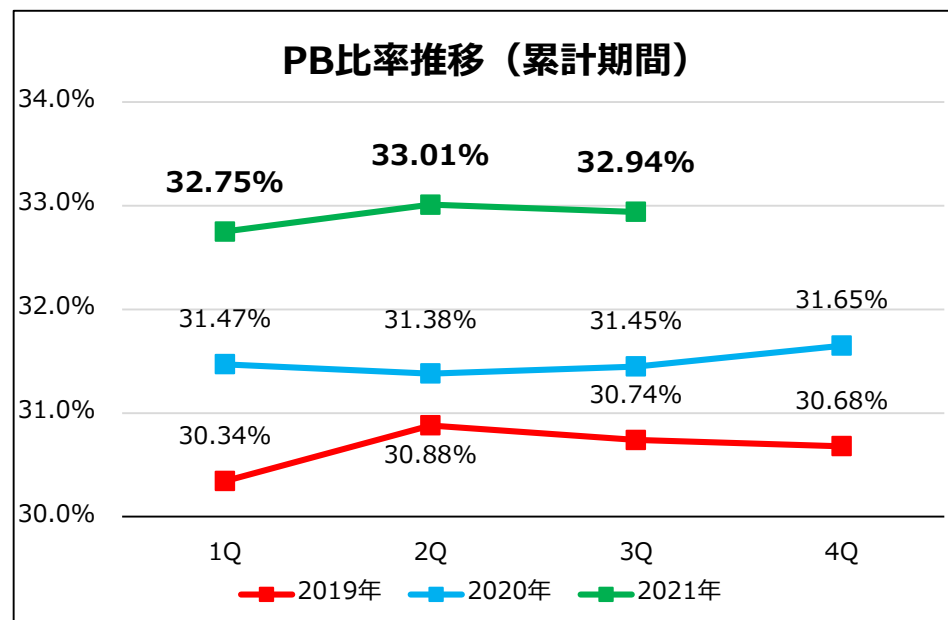
- 会計期間別
 - 1Q : 108.8%
 - 2Q : 96.1%
 - 3Q : 99.8%
- 3Q累計期間
 - 101.3%

※全国は直轄エリア+地方エリア店舗への商品出荷実績となります。

オリジナル商品の強化

2021年1月に宮城県、4月に岡山県で食品製造工場を稼働させたことにより、国内の自社グループ工場数は25工場となりました。食品スーパーとしてその所有数は日本最大級です。そこで製造される業務スーパーにしかないオリジナル商品は、多くのお客様から支持されております。

また、約40ヶ国から直輸入している「世界の本物」の食品は、世界各国の本場の味をリーズナブルにご家庭でも味わっていただけると、大変好評です。



【会計期間でみるPB比率】

1Q : 32.75% 2Q : 33.24% 3Q : 32.82%

PB商品（一例）

■ 自社グループ工場製造商品

宮城県の新工場



ピリピリチキン
6本 321円

岡山県の新工場



鶏屋さんのチキンカツ
1kg 537円



水ようかん
1kg 267円

■ 自社輸入商品



ブラジル産鶏もも正肉
2kg 699円



冷凍ブルーベリー
500g 483円



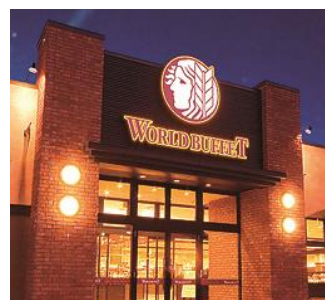
チャチャひまわりの種
260g 246円

※価格は税込です

店舗や時期により商品の取扱いや価格が異なる場合があります

当社が主体となり直営またはFC本部として行っている外食・中食事業です。
 ビュッフェレストラン「神戸クック・ワールドビュッフェ」や焼肉オーダーバイキングの「プレミアムカルビ」、惣菜店「馳走菜（ちそうな）」がこのセグメントに分類されます。

- “神戸クック事業” から“外食・中食事業” へ名称変更し、焼肉事業を“その他” から区分変更
- コロナ禍で神戸クック・ワールドビュッフェにおいて損益分岐点の見直しを進める
- プレミアムカルビ、馳走菜は好調



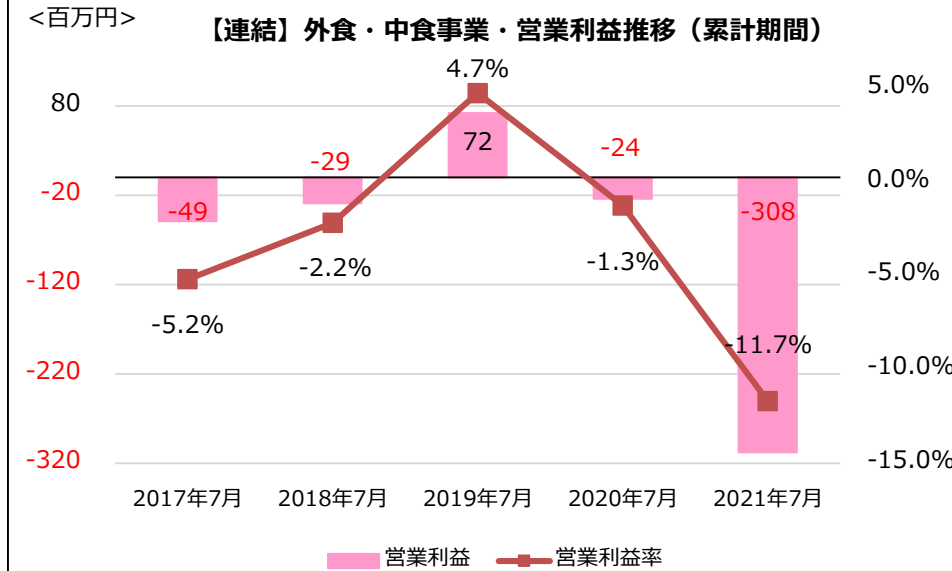
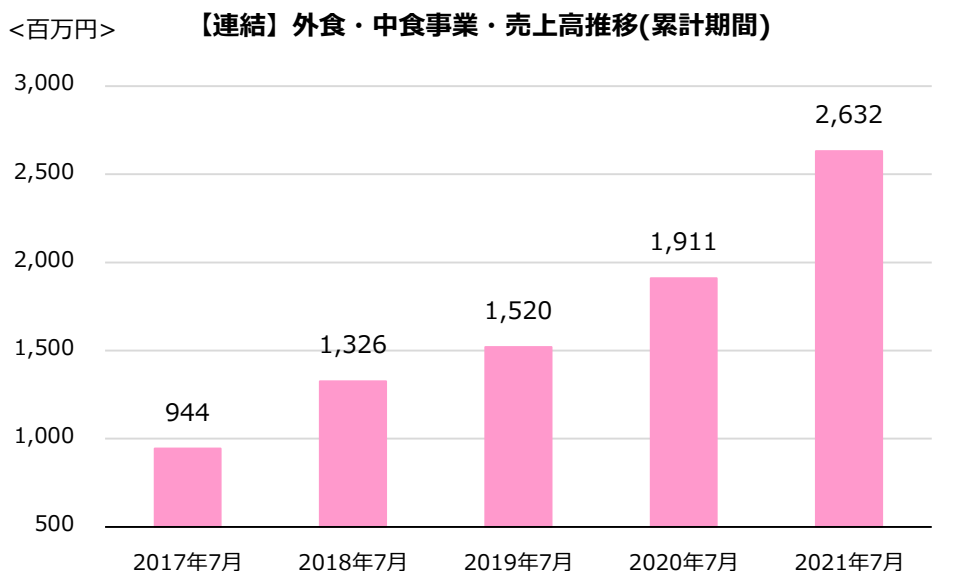
神戸クック・ワールドビュッフェ



プレミアムカルビ



馳走菜



※2021年10月期より報告セグメントの区分変更を行ったため、2020年10月期より遡って表示しており、過去のデータとの連続性はありません。

神戸クック・ワールドビュッフェ

合計店舗数：15店舗（2021年7月末現在）

3Q会計期間 1店舗の出店、累計期間 2店舗の純減

6月出店した奈良広陵店（奈良県北葛城郡広陵町）がコロナ禍でも好調
引き続き、テイクアウトなど需要に応じた取り組みを継続



ハーバーランド店（神戸市中央区）を直営店としてリニューアルオープン

7月12日にハーバーランド店（神戸市中央区）を直営店としてリニューアルオープンいたしました。
セルフレジ導入で人件費の削減、マニュアルの電子化、テイクアウト、サブスクリプション（定額制のお弁当サービス）、デリバリー等、効率的な店舗運営のための様々な検証を行っております。

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

お客様に安心してお食事を召し上がっていただくため、感染予防対策を強化しております。

■従業員実施項目

手洗いうがいの励行、店内清掃及び消毒・殺菌清掃強化、就業前の健康チェックの強化 など

■お客様の安全に向けての実施項目

消毒用アルコールスプレーの設置、定期的なトング類の交換・洗浄・消毒、
店内給排気設備による空気の入替え、ビニール手袋の着用 など

■新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響で、一部店舗の臨時休業や営業時間の短縮を実施しました。



テイクアウトメニュー

※店舗や時期によって取扱いメニューが異なる場合があります。

プレミアムカルビ

合計店舗数：8店舗（2021年7月末現在）

3Q会計期間2店舗の出店、累計期間5店舗の純増
コロナ禍でも店舗数を順調に拡大

メディアの注目度も高く、テレビやWEBなどの露出も増加



PREMIUM KARUBI

プレミアムカルビとは

2018年より当社が直営で運営している焼肉店です。
厳選したお肉と、店内で手作りしたスイーツ&ジェラートなど充実したメニュー構成で他社との差別化を図ります。

店舗一覧

宮前平店	川崎市宮前区土橋2-6-14
上大岡店	横浜市南区中里1-9-24
西鶴間店	神奈川県大和市西鶴間2-1-3
春日部店	埼玉県春日部市豊町3-11-10
立川店	東京都立川市若葉町1-5-8
ふじみ野店	埼玉県ふじみ野市鶴ヶ舞3-5-2
川口北店	埼玉県川口市芝中田2-43-10
新小岩店	東京都江戸川区松島3-40-11

6月10日OPEN

7月21日OPEN



※店舗や時期によって取扱いメニューが異なる場合があります。

馳走菜（ちそうな）

合計店舗数：42店舗（2021年7月末現在）

3Q会計期間5店舗の出店、累計期間17店舗の純増

業務スーパーの来店客数増加やメニューの改廃により好調に推移



新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

馳走菜では、お客様、従業員の安全を第一に、感染予防策を強化しております。

- ・フライバイキングにカバーの設置またはパック詰め
- ・トングの横に消毒用アルコールスプレーを常備

3Q新店一覧

遠藤店	神奈川県藤沢市遠藤642-1
南生駒店	奈良県生駒市小平尾町93
名神尾浜店	兵庫県尼崎市名神町2-4-1
折尾店	北九州市八幡西区浅川2-20-10
久留米東櫛原店	福岡県久留米市東櫛原町686-1



※店舗や時期によって取扱いメニューや価格が異なる場合があります。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮した安全・安心なエネルギーの供給をしています。太陽光発電所および木質バイオマス発電所を運営しています。

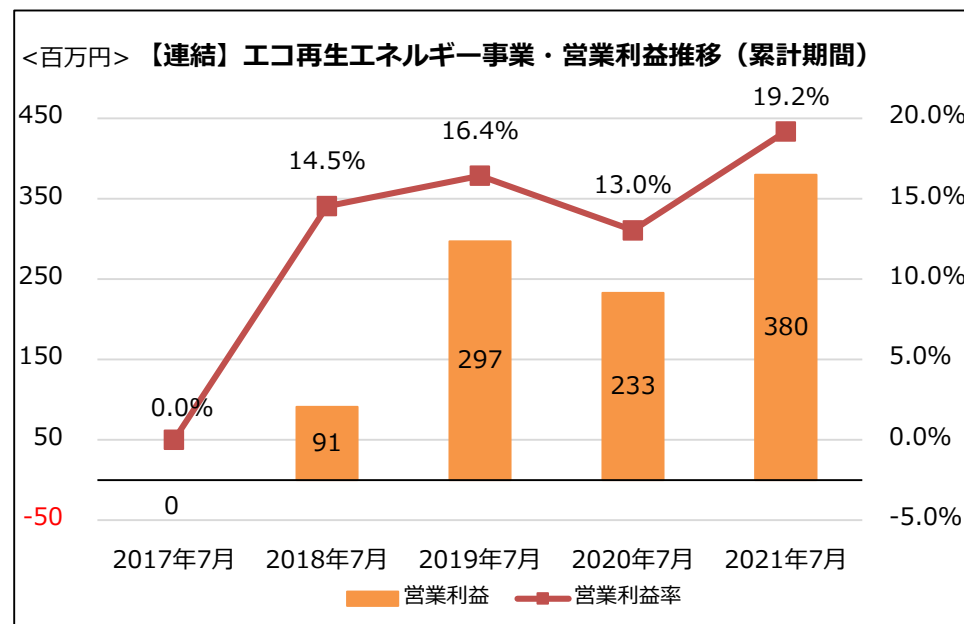
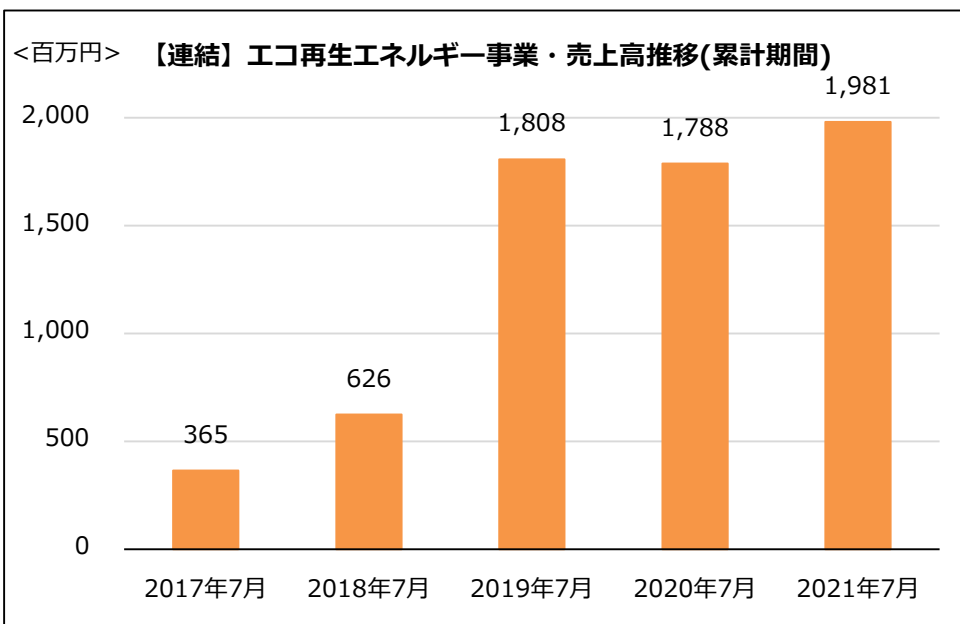
- 5月、大阪府岬町での発電所(9.9MW)が稼働
- 福島県・宮城県の太陽光発電所も順次稼働予定



自社太陽光発電所

写真：(2021年5月稼働9.9MW岬町発電所)

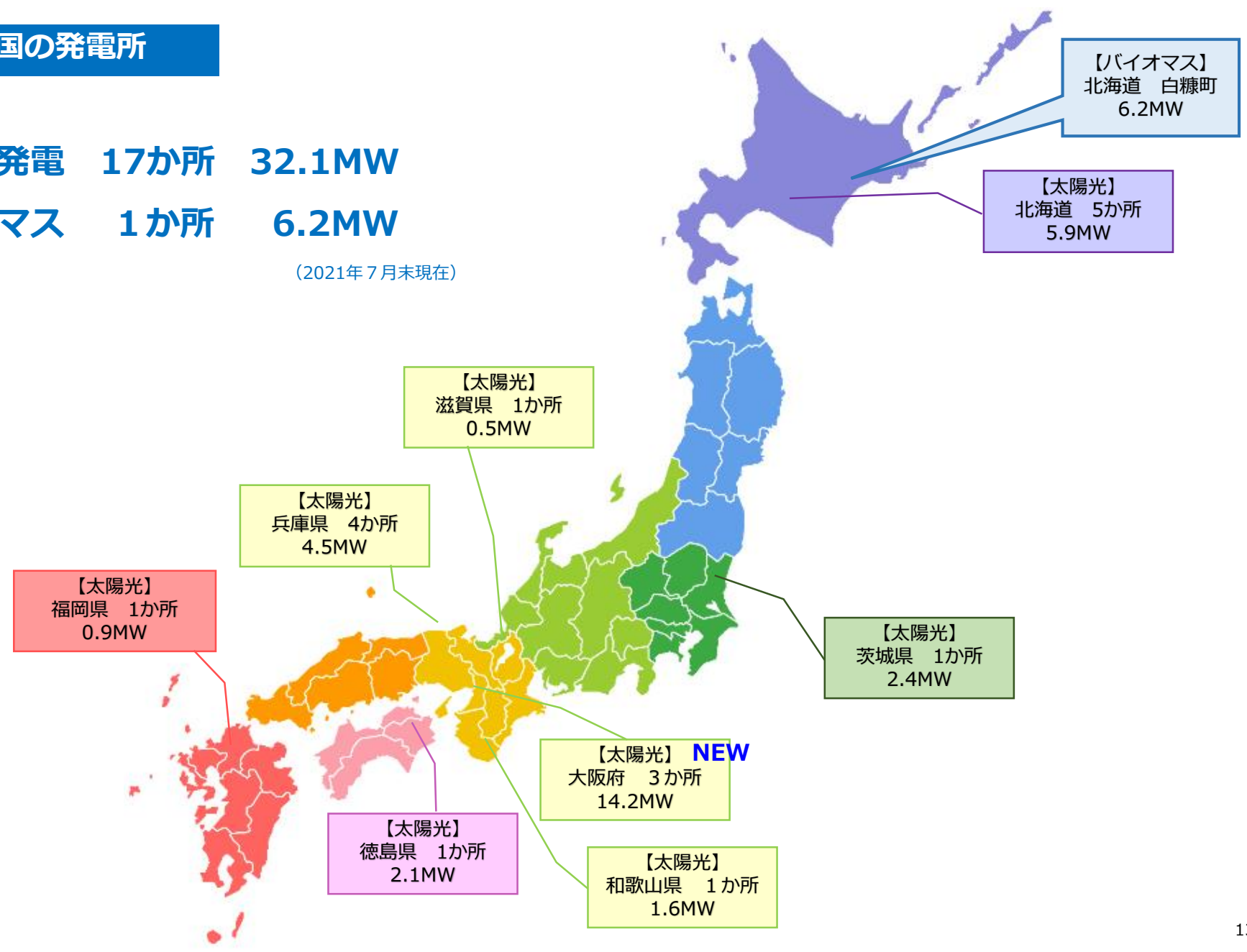
自社木質バイオマス発電所



全国の発電所

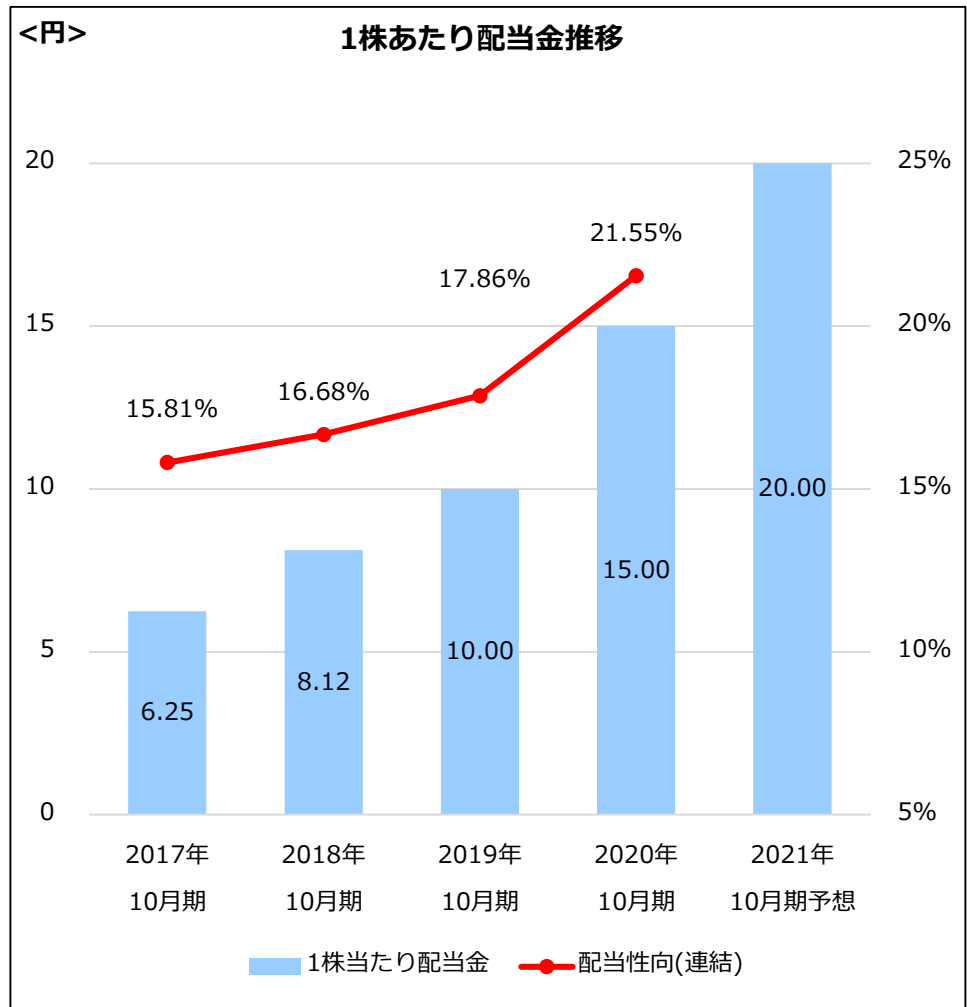
太陽光発電 17か所 32.1MW
バイオマス 1か所 6.2MW

(2021年7月末現在)



当社は株主様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しております。事業拡大のための資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

2021年10月期の配当は、2021年10月期の連結業績予想を上方修正することに伴い15円から20円（株式分割を考慮しない場合は30円から40円）に増配を予定しております。



※2018年11月、2019年11月、2020年11月にそれぞれ1:2の割合で株式分割を実施しておりますので、上のグラフは株式分割を考慮した金額となっております。

■ 2021年6月に通期業績予想を上方修正しております

2021年10月期業績予想に対する進捗率

(単位：百万円)

	3Q実績（累計）	前年対比	通期予想	通期予想進捗率
			（上方修正前）	（上方修正前）
売上高	267,374	103.1%	358,000	74.7%
			341,000	78.4%
営業利益	21,228	113.7%	29,400	72.2%
			24,800	85.6%
経常利益	22,205	120.1%	30,000	74.0%
			24,800	89.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,883	127.7%	20,000	74.4%
			16,000	93.0%

2021年10月期予想に対する業務スーパー事業ガイドライン

	2021年10月期目標	アクションプラン
出店目標	60店舗の純増 (期初目標45店舗の純増から上方修正)	関東・九州地方を中心とした店舗開発 本部主導の物件情報収集の強化
既存店出荷実績	通期累計の実績で前年実績を超える	商品供給能力を増加させチャンスロスを防ぐ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前期の実績を超える

- 本資料には、2021年9月13日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。
- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承ください。
- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではありません。

～本資料に関するお問い合わせ先～
株式会社神戸物産
経営企画部 IR・広報 芝田・高木
TEL : 079-458-0339